

## 大阪都市計画局・令和5年度部局運営方針

大阪都市計画局では、大阪の成長や発展を支える大都市のまちづくりを広域的な視点から府市一体で推進しています。  
令和5年度は、次のテーマについて重点的に取り組みます。

### 重点テーマ：「大阪のまちづくりグランドデザイン」に基づき、大阪全体のまちづくりを推進

#### 〔主な取り組み〕

##### ■ グランドデザインの推進

- 市町村との連携会議やまちづくりのテーマに応じた会議体の設置など、市町村や民間事業者、庁内関係部局をはじめ多様な主体の連携の場や推進体制を整備します。
- 大阪・関西万博の開催やIR誘致等の絶好の機会を捉え、国内外の民間事業者等をターゲットに、グランドデザインのプロモーションを実施します。
- 市町村や民間事業者向けに、まちづくりの進め方や各種法制度・補助制度といった支援メニューなどを分かりやすく示した、まちづくりの手引書となる指針を作成します。

##### ■ 国際競争力を持った都心部の拠点形成

- うめきた2期地区において、「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現をめざし、2024年夏頃一部先行まちびらきに向け、基盤整備事業等を着実に推進します。
- 新大阪駅周辺地域において、駅とまちが一体となった世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現をめざし、民間都市開発の誘導などの取組みを推進します。
- 大阪城東部地区において、大阪公立大学や大阪メトロと連携し、新駅のインパクトを活かした1.5期開発の2028年春のまちびらきに向けた取組みを推進します。
- 夢洲地区において、万博開催後の速やかな跡地活用を見据えた夢洲第2期のまちづくりを検討します。

##### ■ 府内各地域における拠点形成・まちづくりの推進

- 彩都において、ライフサイエンス関連施設やデータセンターなど経済成長を促す産業集積の機能を組み込んだ時代を先導する都市形成をめざします。
- りんくうタウンにおいて、企業誘致や土地分譲を進めるとともに、公民連携によりまちのにぎわいづくりを推進します。
- 千里・泉北NTなどにおいて、高齢化や都市施設の老朽化等の課題に対し、再生に向けた取組みを進め、環境配慮やICTの活用などによる先導的なまちづくりを推進します。
- 市街地再開発事業等による鉄道駅周辺のまちづくりや、幹線道路沿道における産業立地の誘導など計画的なまちづくりを推進します。

##### ■ 広域連携によるまちづくり

- 関西各地のサイクルルートを連携させ、関西の豊かな自然や世界遺産などの歴史・文化資源等を活用し、自転車を活用した広域連携によるまちづくりを推進します。
- 淀川大堰閘門の着実な整備の促進とともに、公民連携により淀川沿川の地域資源を高め、つながることにより、流域全体の魅力あふれるまちづくりの取組みを推進します。
- 生駒山系の豊かなみどりや自然空間などを活用した広域連携によるまちづくりを推進します。
- 夢洲における万博・IRのインパクトや泉州地域沿岸部の様々な地域資源を活用し、ベイエリア全体の活性化に向けた取組みを推進します。

##### ■ 都市計画制度等を活用したまちづくり

- 都市計画制度の的確な運用により、大阪の成長・発展を支えるまちづくりを推進します。
- 府市ノウハウを活用するなど、市町村を広域的な観点から支援するとともに、大阪市内については「ワンストップ窓口」を活用し、民間事業者の負担軽減や利便性向上を図ります。